

令和5年10月13日

保護者各位

鳥栖市立田代小学校
校長 黒田 清隆

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和5年度全国学力・学習状況調査について

令和5年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・ 国語の平均正答率は、全国正答率を下回っていました。無解答率が全国平均に比べておしなべて高く、とりわけ記述式の問題で自分の考えを表現することに困難を抱える児童が多いことが分かりました。日々の授業の中で、自分の考えをまとめ、記述する場をより多く設定し、表現する力を高めていくようにします。
- ・ 観点別に見ると、「知識及び技能」は全国正答率とほぼ同等でしたが、「思考力、判断力、表現力等」については、全国正答率を下回りました。領域別でも、「言語についての知識・理解・技能」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全ての領域で、全国正答率を下回っていました。とりわけ、「読むこと」は、全国正答率よりも大きく下回り、読み取る力や要旨をまとめる力が定着していないことが分かります。文章の中から、内容を簡潔に表すキーワードを見つけたり、資料に見られる特徴を自分の言葉で表現したりする学習を取り入れ、読む力を高めていけるよう指導していきます。また、内容のまとまりで段落を分けたり、考えとそれを支える理由や事例といった段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える活動などを、日々の授業の中で積極的に組み込む等の手立てを取るようになります。

(2) 算数について

- ・ 算数の平均正答率は、全国正答率をやや下回りました。無解答率が高く、特にデータを活用する問題で考えをまとめたり深めたりすることが苦手な児童が多いことが分かりました。
- ・ 観点別では、「知識及び技能」は全国正答率とほぼ同等でしたが、「思考力、判断力、表現力等」については、全国正答率を下回りました。領域別では、特に「数と計算」において、全国正答率を大幅に下回っている問題がありまし

た。学級でのスキルタイムなどを使って、小数や分数の計算など基礎的な問題を繰り返し学習する時間を設定したいと考えます。また、「データの活用」についても、全国正答率を大きく下回っていました。与えられた文章や図、表・グラフなどから必要なことを読み取り考える学習、一定の条件の中で答えをまとめたりする学習を、日々の授業の中で意識的に取り上げるなど、課題解決のための指導改善を行っていきます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

○全 59 の質問項目から、全国と比較したときに概ね良好(同等かそれ以上)な結果であった項目について

質問項目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
将来の夢や目標を持っていますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	88.7%	81.5%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	98.4%	96.9%
学校に行くのは楽しいと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	83.9%	84.3%
友達関係に満足していますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	95.1%	90.3%
読書は好きですか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	79.0%	71.8%
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	92.0%	92.8%

- ・ 将来の夢や目標をもつことについて肯定的な回答をした児童の割合は、全国と比べて高い結果でした。各教科・教科等における学びを生かすキャリア教育による影響も大きいと考えます。
- ・ いじめについての質問には、ほぼ全員の児童が肯定的な回答をしていました。また、学校に行くのを楽しいと感じている児童の割合も全国とほぼ同等の結果でした。さらに、友達との関係について満足している児童の割合も高かったです。学校生活を楽しく過ごすためにも、「友達をだいにする」「いじめはぜったいに許さない」という一人一人の意識を強くもつ必要があります。児童の現在の気持ちを、今後も継続し、さらに高めていくために、引き続き適切な指導を行っていきます。
- ・ 読書については、肯定的な回答をしている児童の割合が高かったです。進んで図書室を利用する児童も多く、多岐にわたるジャンルの書物を読んでいる傾向にあります。そのことが、国語の学びの価値についての考えを形成している要因のひとつになっていると考えます。
- ・ 朝食の摂取状況については、あまり食べていない・食べていないと答えた児童が全体の1割いました。併せて、毎日きまった時刻に起きていない児童も多く、基本的な生活習慣の根幹を整える必要があることを感じました。
- ・ 家で自分で計画を立てて勉強をしているか、という質問に対し、まったく当てはまらないと回答した児童が全国と比べて高い傾向にありました。また、1日当たりの家庭学習時間が「30分未満または全くしない」と答えた児童も全体の2割を超え、家庭での学習が計画的に行われていないことが課題として見えています。今後、授業とつながる課題、自主的にじっくり取り組める課題等、家庭学習の見直しや工夫を行うとともに、家庭学習の大切さについても継続して指導していきます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・ 児童がより意欲的・主体的に学ぶことができるよう、児童の発言を大切にされた対話の多い授業づくりを今後も継続して行います。また、学習や生活のふり返りを定期的に行い、自分の頑張りや課題を見つめさせ、意欲の継続を促し学習規律・習慣の充実を図ります。
- ・ 【家庭学習のしおり】を参考にご家庭でも次のようなことに心がけていただければと思います。

1 家庭での学習環境を整え、学習時間を確保してください。

◎学習する場所や時間を決め、学習習慣を身に付けさせましょう。

◎テレビやゲームの時間やルールを決め、長時間にならないようにしましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

◎「早寝・早起き・朝ご飯」で、元気とやる気の出る体と心を育てましょう。

◎会話を多くもち、お子さんががんばった過程やできたことを大いにほめましょう。